

事例1 スマートフォンに買い替えたいとねだられた

クラスメートが最新のスマートフォンに買い替えたことを知った栄子さんは、自分が使っている携帯電話もスマートフォンに替えてほしい、とお母さんにお願いしました。

お母さんは、自分はまだスマートフォンを持っていなかったのですが、買い替えるつもりはありませんでしたが、栄子さんから「友だちはみんなスマートフォンを持っている。」と言われ、考えてしまいました。



この事例の問題点は？



グループワークで考えてみましょう！

- 最新のスマートフォンにすることには、どんなメリットやデメリットが考えられますか？
- 子供たちがスマートフォンでよく使うアプリには、どんなものがあるでしょうか？
- もしスマートフォンに買い替えたとしたら、親としてどのような心構えが必要でしょうか？



親子で話し合うつもりで考えてみましょう!

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子： 携帯電話だと格好悪くて恥ずかしいから、私もみんなが持っているようなスマートフォンに替えてほしいな。

親： その時、どのように答えますか。



質問例②

子： 勉強や調べ物に便利だから、スマートフォンを買ってほしいな。

親： その時、どのように答えますか。



この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。

ミニコラム

「お子さんの年齢に応じた推奨携帯を知っていますか？」

東京都では、青少年に対するインターネット上の有害情報対策を主たる目的として、携帯電話端末等及び携帯電話端末等において利用可能な機能の推奨を行っています。

推奨基準は二つに分かれています。

- ①専ら保護者等との連絡のために携帯電話を利用する時期（おおむね小学生程度）
- ②インターネット利用について学習している時期（おおむね中学生以上）

子供に携帯電話を持たせる際、年齢に応じた携帯電話や携帯電話の機能・サービスを選ぶ目安としてご利用ください。

※この推奨制度は、平成23年7月1日の条例の施行により創設されたもので、携帯端末を持つことを東京都が勧めるものではありません。

詳細は下記のURLをご覧ください。

http://www.seisyounen-chian.metro.tokyo.jp/seisyounen/09_keitai_suishoutanmatu.html

子供に携帯電話を持たせる場合には、事例3～事例9を参考に、家庭でどんなルールができそうか考えてみましょう。